

2017年2月28日

産学官連携で誕生した日本人学生と留学生向け空き家利活用シェアハウス 関係者向けオープニングセレモニー **取材のご案内** 3/7 (火) 横浜市大学長, 金沢区長, 京急電鉄社長などが出席します

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）と横浜市立大学（所在：横浜市金沢区，学長：窪田 吉信，以下 横浜市大），横浜市金沢区（区長：國原 章弘，以下 金沢区）は，「環境未来都市 横浜 “かなざわ八携協定”」のもと，金沢区内の空きアパートをリノベーションした「PRIME CONNECT 金沢文庫（以下 本物件）」の関係者向けオープニングセレモニーを2017年3月7日（火）に開催します。

本取組みは，空き家を活用した新しいビジネスモデルの展開を構想する京急電鉄および京急不動産株式会社（本社：東京都港区，社長：樫野 敏弘，以下 京急不動産），空き家問題の解消を図る金沢区が，横浜市大の齊藤広子教授による授業（まちづくり実習Ⅱ）「ヨコイチ 空き家利活用プロジェクト」と協働し，学生による金沢八景キャンパス周辺での空き家の調査，利活用の企画提案など実践的に地域の課題解決のサポートをしながら進められました。本物件は，2016年7月26日（火）に行われた実習の成果発表会において，学生による7つの提案の中から京浜急行電鉄賞を授与した「日本人学生と留学生のためのシェアハウス」のコンセプトをベースに，2016年7月から京急不動産および株式会社京急リブコ（本社：神奈川県川崎市，社長：本多 利明，以下 京急リブコ）が，空きアパートのリノベーションを企画・施工し完成に至りました。

今後は，横浜市大が学生用シェアハウスとして一括借上げし，日本人学生および外国人留学生合計8名の受け入れを行うとともに，京急グループ・金沢区協力のもと，学生と地域住民の交流の場として活用していく予定です。学生の入居については4月上旬を予定しております。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが，報道関係の皆さまに，ぜひ取材にお越しいただきたく，ご案内申し上げます。詳細は別紙のとおりです。

**取材の申し込みについては最終ページの申込表に必要事項をご記入のうえ，
3月6日（月）15時までにご返信ください。**



工事前の物件写真



成果発表会の様子

※資料配布先

国土交通記者会 文部科学記者会 ときわクラブ 横浜経済記者クラブ 横浜市政記者会

※この資料に関するお問い合わせ

京急電鉄 総務部広報課

横浜市大 研究基盤課

金沢区 区政推進課

尾原・菊池 TEL 03-3280-9129

竹内 TEL 045-787-2019

伊倉 TEL 045-788-7720

(参 考)

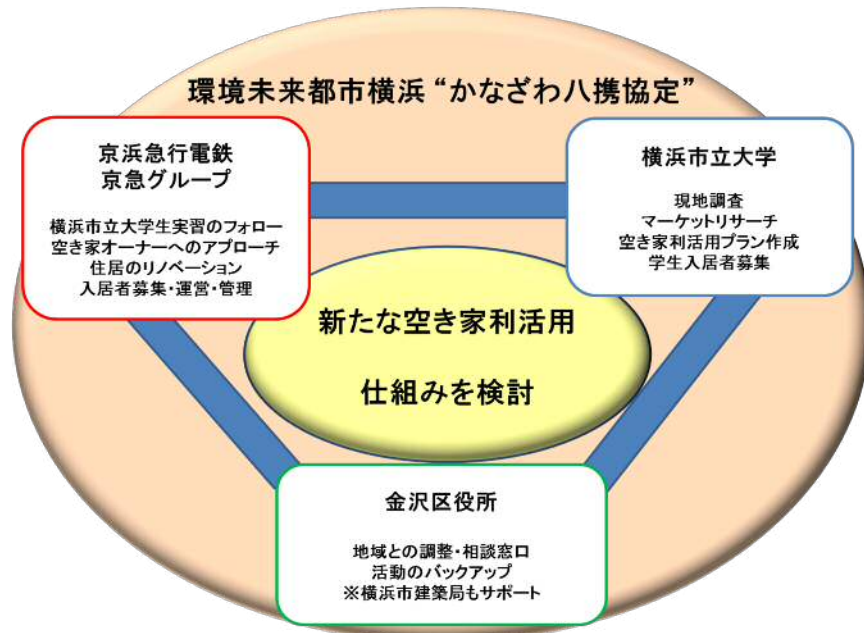
1. 本物件について

- (1) 名 称：PRIME CONNECT 金沢文庫
- (2) 所 在：横浜市金沢区谷津町 174-4
- (3) 構 造：木造 2 階建て
- (4) 延床面積：149.05 m² (45.08 坪)
- (5) 間取り：8 部屋 (1 階 3 部屋, 2 階 5 部屋)
- (6) アクセス：京急線金沢文庫駅徒歩 7 分
- (7) 築年数：40 年

- (8) 所有者：京急不動産
- (9) その他
 - イ. 工事施工者：京急リブコ
 - ロ. 着工時期：2016 年 10 月上旬
 - ハ. 竣工時期：2017 年 2 月下旬
 - ニ. 一括借上げ契約締結時期：2017 年 3 月上旬
 - ホ. 入居開始時期：2017 年 4 月上旬

2. 「ヨコイチ 空き家利活用プロジェクト」概要

横浜市大の学生が実習授業科目として、京急グループ・金沢区と連携し、地域の協力を仰ぎながら空き家や利用ニーズ等の調査を実施した後、自分たちや若者が住みたいと思う住居の企画提案を行い、それをもとに京急不動産および京急リブコが空き家オーナーへのアプローチやリノベーション等の役割を担い、地域に密着した空き家利活用の仕組みを検討・提案。



3. 環境未来都市 横浜 “かなざわ八携協定”

横浜市は、環境未来都市の実現に向けて、地球温暖化や少子高齢化などの社会的課題の解決を目指し、省エネルギーや地域活性化策を推進している。金沢区エリアにおいても、温暖化対策に加え、加速する少子高齢化に対する地域活性化策を実践するため、2014 年 7 月に八者（京急電鉄、株式会社横浜シーサイドライン、横浜商工会議所金沢支部、株式会社横浜八景島、学校法人関東学院、横浜市大、横浜金沢観光協会、金沢区）による協定を締結し、豊かな自然を引き継ぐとともに、協働しながら金沢区のまちをさらに盛り上げ、その魅力を広く発信している。

